

様式第5号（第4条関係）

政務活動費使用計画書

令和2年10月16日

久慈市議会議長 畑 中 勇 吉 様

会 派 名 政 風 会

代表者名 小柳 正人



政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、次のとおり提出します。

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和2年10月27日（火）～令和2年10月28日（水）まで				
実施場所	秋田県男鹿市、能代市				
参加者名	代表：小柳正人、幹事長：小倉利之、事務局：佐々木栄幸、 清水崇文、大沢俊光				
予 算 額	90,060 円ほか研修費等滞在諸経費				
内 容	<p>■10/27：秋田県男鹿市 学力調査で全国・県平均を上回っている、男鹿市が全小・中学校で、平成28年度より導入しているコミュニティ・スクールと、おがっこ宿泊体験学習の取り組みや、小・中学校が小規模化する中で活力ある学校づくりに効果をあげている。</p> <p>小規模校のメリットを最大限生かした取り組み、GIGAスクール構想を含むICT教育の展開など、今年度から久慈市で進められる学習用端末を活用した教育に移行することから、先進地の視察を行った上で有意義な教育提言を行うことを目的とする。</p> <p>■10/28：秋田県能代市 能代市では電力の安定供給を確保するために、最新技術による石炭火力発電を採用し、熱効率は42.8%と高レベルである。当施設に隣接し「人・自然とエネルギーの調和」をテーマとし、発電後の排熱を利用した日本で初めての「エナジウムパーク植物園」において、熱源利用状況の研修・火力発電原理と久慈市で実証実験している波力発電・洋上風力発電のPR施設、現在計画中の「広域道の駅」における集客プラン等への提言を目指すことを目的とする。</p>				
行 程	別添行政視察行程表のとおり				

